



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索  
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>



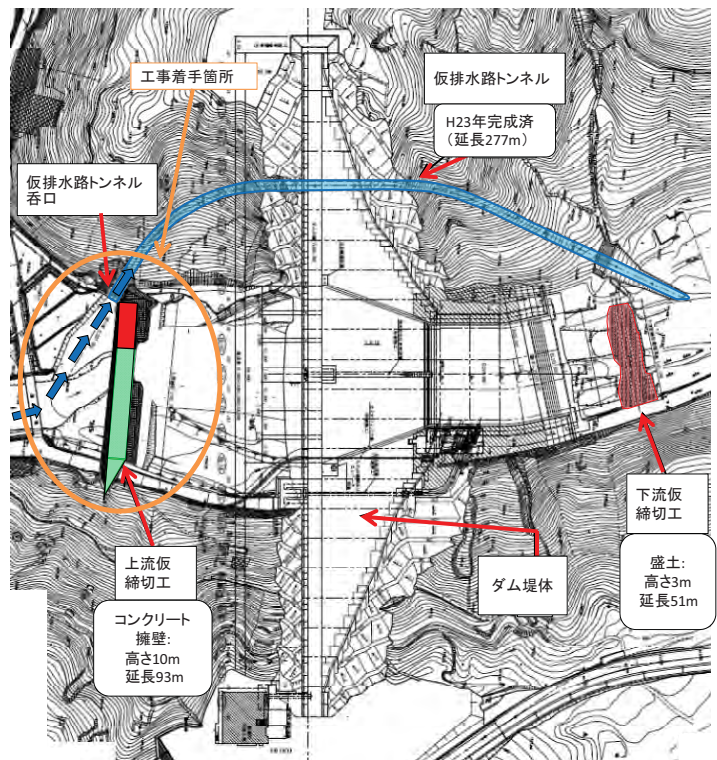
## 転流工に着手しました

川上ダム本体建設工事は、2月から<sup>てんりゅう</sup>転流工に着手しました。転流とはダム堤体の建設工事の支障とならないように、河川の流れを迂回水路に切り替えることを言います。

転流に必要な構造物は、迂回させた川の水を流す仮排水路と、ダム堤体を建設する河川区間の上・下流側で元の河川を締め切る仮締切工から構成されます。

川上ダムの場合、仮排水路は前深瀬川の左岸側にトンネル構造で設けられ、平成23年1月に完成済です。2月から始まった工事では、堤体の上・下流側で仮締切工を施工します。コンクリート擁壁構造の上流仮締切工は、堤体の上流側で前深瀬川を締め切り、川の流れを仮排水路トンネルに導きます。盛土構造の下流仮締切工は、ダム堤体の工事現場に河川の水が逆流するのを防ぎます。

今後、4月上旬には前深瀬川の流れを仮排水路に切り替える転流を行い、上下流の仮締切工を9月までに完成させます。そして、10月からダム堤体の基礎となる堅硬な岩盤を露出させる工事（基礎掘削）に着手する予定です。



転流工全体平面図



上流仮締切工の施工箇所ごとの施工時期

【工事課 市川滋己】



# 環境に配慮して河川工事を行います

川上ダム建設所では、平成4年6月に三重県環境影響評価の実施に関する指導要綱に基づく環境影響評価を行い、平成21年7月には、環境影響評価法の技術内容に準じて「川上ダム建設事業における環境保全への取り組み」を公表し、様々な環境保全の取り組みを実施しています。前頁に紹介された転流工のような河川工事を行う場合には、工事に伴って発生する川の濁りなどが、河川環境や河川内及びその周辺に生息する生きものなどに及ぼす影響を最小限とするように配慮します。

さらに、川上ダム周辺の前深瀬川流域は国の特別天然記念物であるオオサンショウウオの生息環境となっていることから、三重県においては河川に関わる工事を実施する場合は、工事箇所周辺のオオサンショウウオの生息状況調査を実施して、オオサンショウウオに配慮した設計・施工等の保全措置に努めることとされています<sup>\*</sup>。このため、当建設所が実施する河川工事では三重県の指針に基づき、岩や石の隙間、水辺の植生の根際にオオサンショウウオがいないか探索して保護しています。保護した個体は、工事の影響のない場所へ移転させています。このときには、オオサンショウウオのほかに魚や水生昆虫なども可能な限り保護して移転しています。



工事実施時に石をめくって調査している様子

今後も、河川工事を実施するときの環境保全対策について、有識者の指導・助言をいただきながら実施してまいります。

※特別天然記念物オオサンショウウオ保護管理指針2012（三重県、奈良県）

【環境課 清水杏子】

## 研修会受け入れ～社会基盤としてのダム施設

1月30日（火）に一般社団法人三重県社会基盤整備協会が主催した現地研修会が開催されました。

この研修会は、県内の市町職員を対象に毎年行われており、今年度は上野遊水地（伊賀市）と川上ダムに市町職員と整備協会の方々計16名が訪れました。上野遊水地での研修の後、当建設所において川上ダム建設事業全体の概要とこれから本格化するダム本体工事について説明を行いました。



ダム本体工事についての説明



ダムサイト予定地視察の様子

その後ダムサイト予定地へ移動して、ダムサイト右岸側の広場から現在進められている工事状況を見ていただき、今後の工事に対する質問や助言などをいただきました。

川上ダムはこれから工事が本格的に動き出します。当建設所では、一般の方々の見学のみではなく、社会基盤を整備・維持している市町職員の方々や将来を担う中高生に対する研修の場として活用いただけるよう取り組みを進めていきたいと思っております。

【工務課 小谷口雅義】

# 「ダム友と語る会」が開催されました

1月27日（土）、水資源機構関西・吉野川支社淀川本部で「ダム友と語る会」が開催されました。「ダム友と語る会」はダム愛好家と当機構淀川本部の共催で、相互からダムに関する話題・情報提供を行い、相互の知識向上等を目的に開催しています。本会は平成23年度から開催しており今回で10回目となります。当日はダム愛好家の方々が10名、当機構及び国交省から9名が参加しました。当機構より「今年の台風21号におけるダムの防災対応について」及び「川上ダムの現状と今後の計画について」を説明し、ダム愛好家の方からは、全国各地のダムにおける堆砂状況と課題、そして木津川における堆砂についての話題提供がありました。また、国交省からは上野遊水地についての紹介がありました。



水資源機構からの説明の様子

その後、各話題を含め参加された方々による意見交換等を行い、本体工事が始まる川上ダムへは、ダム愛好家から「ダム建設中も自由に見学できる場所がほしい。」などの意見が出されるとともに、完成後のビューポイントについても質問と意見が多数ありました。最後に次回は川上ダムで行うことを確認して閉会となりました。

川上ダム建設所では、ダム工事の安全な進捗はもとより、ダムが出来ていく様子を多くの皆様に見ていただくために努力していきたいと思います。  
【副所長（技術） 松岡義幸】

## 第2回川上ダム周辺整備懇談会開催

1月22日（月）に「第2回川上ダム周辺整備懇談会」を開催しました。この周辺整備懇談会は川上ダム建設事業完了後を見据えたダム周辺の整備について、地域の方々と活発な意見交換を行う場であり、前回（平成29年7月11日）に引き続き、伊賀市青山支所管内の住民自治協議会、川上区、伊賀川漁業協同組合の代表者並びに伊賀市の方々にご参加頂きました。

懇談会では、前回のご意見・ご提案に対する対応案、川上ダムの施設整備における景観コンセプトについて説明を行いました。この景観コンセプトは周辺の自然景観や周辺の町並みに十分調和することを目指し、伊賀地方で目にする機会の多い伊賀瓦の灰色を基調とした落ち着いた色彩、色調とすることとしています。

懇談会後には、周辺整備の候補地となっているダムサイト右岸広場や、貯水池周辺の眺望施設の候補地である県道青山美杉線上川原地区の現地視察を行い、貴重なご意見・ご提案を頂きました。

今回の懇談会、現地視察でのご意見・ご提案を踏まえ、より現実的な川上ダムの周辺整備について計画を具体化していきたいと考えています。  
【調査設計課 赤尾大樹】



北牧所長によるあいさつ

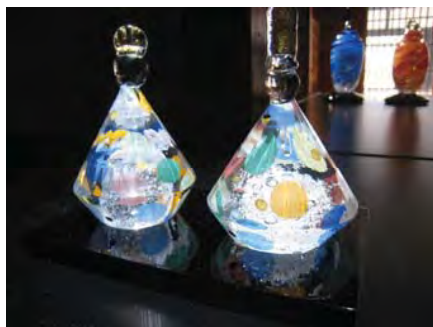


現地視察の様子



# 伊賀上野・城下町のおひなさん

伊賀市上野本町周辺で今年も3月3日まで開催されている「城下町を彩るおひなさん」を訪ねましたので、武家屋敷や町家、商店に飾られていたおひなさんをいくつか紹介します。町のいたるところで、いろいろな姿のお雛さんとお内裏さまを見ることができました。【工務課 小谷口雅義】



伊賀上野本町周辺で飾られているおひなさんなど

## イベントのお知らせ

### 初瀬街道まつり

開催日時 3月4日(日)  
開催場所 初瀬街道阿保宿周辺  
お問い合わせ 阿保地区市民センター  
TEL: 0595-52-2000

### 桜山公園のお花見

開催時期 3月下旬 ~ 4月上旬  
開催場所 伊賀市阿保、桜山公園  
お問い合わせ 伊賀上野観光協会 青山支部  
TEL: 0595-52-5202

## 本紙に対するご意見と掲載記事を募集します♪

当建設所では、読者の皆様により一層親しみながら川上ダム通信をお読み頂けるよう、本紙に対するご意見や掲載記事を募集しています。詳細については、下記までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

### 【問い合わせ先】

総務課 TEL: 0595-52-1661  
Mail: somu1@lily.ocn.ne.jp  
※広告など営利目的のものはお受け致しかねます。

## 編集後記

3月に入り、三寒四温などと言われる季節になってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。日本では、必ずしも文字通りの周期で寒暖が繰り返されるという訳ではないようですが、寒い日と暖かい日が交互にやってくることで春の訪れを感じる趣は、古今東西変わりないように思います。

待ち遠しい春は、もうすぐそこまで来ています。

### 【広報誌発行事務局】

編集長	北牧(所長)	
デスク	大西(総務課長)	小谷口(工務課長)
記者	関澤(総務課)	桐山(第二用地課)
	赤尾(調査設計課)	藤岡(工務課)
	河野(工事課)	佐々木(機械課)

